萩ジオパーク
推進協議会だより vol.75

萩ジオパーク推進協議会
｜2021年5月31日発行｜

〒758-0041
山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765 0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject

5月1日、笠山山頂展望台リニューアルオープン！

5月1日10時30分から、笠山山頂でリニューアルオープンセレモニーが開催されました。
主催者である田中市長の挨拶、横山市議会議長による来賓代表挨拶、テープカットなどが行われました。

セレモニー終了後、白井専門員よる3階展示休憩室の展示パネルの解説や、笠山火山スコリアの試食。

笠山ジオの会による「笠山噴火実験＆火口見学ミニツアー」が開催され、当日は直前まで雨予報だったにも関わらず、晴天となり多くの方が参加されました。

5月6日萩テレビ「マイたうん萩」の収録が行われ、新人の池田君が出演し、クイズをまじえて笠山山頂の魅力をたっぷり紹介しました。

令和3年度萩ジオパーク推進協議会定期総会が開催される

昨年度は新型コロナウイルス対策として書面決議だったため、2年ぶりとなる萩ジオパーク推進協議会定期総会が5月14日萩市役所大会議室で開催されました。
令和2年度決算、今年度事業計画・予算等すべて原案どおり可決しました。また、役員改選では、副会長に、椎木耕司監事が、監事に岡野芳子委員が新任となりました。このほか花田憲彦副会長、山本隆志副会長、奥山明副会長、白神崇監事が留任となりました。
脇田浩二顧問からは、萩ジオパークは、ガイド・プランナー講座・ジオアカデミー・地球を食べる食堂・大地の遊び人講座、ジオアドベンチャー・地球目線の街歩きなど、地球思考に基づくイベントを実施し、日本の他の地域に先駆けて「オンラインツアー」を実施してきた、日本のジオパークのフロンティアです。萩ジオパークは、世界最先端の地球思考都市を目指すチャレンジを行っています。萩ジオパークの活動は、推進協議会のメンバーをはじめ、市民一人一人の参加が必要です。みんなでいっしょにチャレンジしましょうとの講話がありました。
また、横山秀二顧問からは、令和4年度に行われる日本ジオパーク再認定審査に向け、これまで取り組んできた萩ジオパーク構想の基本計画・実行計画の進捗や課題整理、前回指摘事項への対応等しっかり取組んでいこうとのお話がありました。

【令和2年度会計報告】

令和2年度　萩ジオパーク推進協議会　会計報告

協議会会計

1．収入の部　（単位：円）

項 目	予算額	決算額	差引増減額	摘要		決算額
補助金	8,093,000	7,091,972	-1,001,028	萩市補助金	萩市補助金	7,091,972
負担金	1,000,000	1,000,000	0	事業負担金	阿武町負担金	400,000
					山口市負担金	600,000
雑収入	823,428	668,746	-154,682	雑収入	各種講座・体験プログラム参加費	668,704
					預金利息	42
合　計	**9,916,428**	**8,760,718**	**-1,155,710**			**8,760,718**

2．支出の部　（単位：円）

項目	予算額	決算額	差引増減額	費目	摘要	支出実績
報酬	600,000	600,000	0	報酬	戦略顧問報酬	600,000
報償費	577,000	653,088	76,088	報償費	講師謝金、ガイド謝金	653,088
旅費	1,999,744	150,989	-1,848,755	費用弁償	顧問、講師旅費	146,909
				普通旅費	事務局職員旅費	4,080
需用費	2,704,798	1,659,496	-1,045,302	消耗品費	オンラインプログラム配信機材、フェア資材、事務用品費　等	1,195,226
				食糧費	萩ジオパークフェア2021食材　等	41,320
				印刷製本費	チラシ、ガイドブック、マップ等	354,750
				修繕料	ビジターセンタースイッチ修繕　等	68,200
使用料及び賃借料	213,136	405,048	191,912	使用料	Adobeライセンス、バス借上、講師宿泊代、会場使用料　等	405,048
役務費	455,750	363,607	-92,143	通信運搬費	送料、切手代　等	186,154
				広告料	萩ジオパークフェア2021新聞広告　等	108,000
				手数料	オンラインツアー仲介手数料、各種振込手数料	57,453
				保険料	イベント、講座・研修等の保険料	12,000
委託料	1,560,000	3,388,490	1,828,490	委託料	公式ホームページ制作業務、萩ジオパーク展示業務、笠山山頂展望台展示業務、ガイド研修業務　委託等	3,388,490
負担金補助及び交付金	1,806,000	1,510,000	-296,000	負担金	負担金、JGN年会費 等	1,510,000
寄付金	0	30,000	30,000	寄付金	熊本豪雨災害寄付金	30,000
合　計	**9,916,428**	**8,760,718**	**-1,155,710**			**8,760,718**

永尾基金

項目	予算額	決算額	差引増減額	摘要
繰越金	3,000,076	3,000,076	0	故：永尾隆志氏寄付金の繰越
雑収入	24	25	1	
合　計	**3,000,100**	**3,000,101**	**1**	

【令和3年度収支予算書】

令和3年度　萩ジオパーク推進協議会収支予算書（案）

協議会会計

1）収入の部

項目	科目	金額（円）	概要等
補助金	萩市補助金	7,150,000	
負担金	事業負担金	1,000,000	阿武町、山口市負担金
雑収入	講座等参加費	1,230,135	ジオツアー等イベント参加費、預金利子等
	合計額	**9,380,135**	

2）支出の部

項目	科目	金額（円）	概要等
報酬	報酬	600,000	戦略顧問報酬
報償費	報償費	759,000	謝金（支援員、講師、ガイド等）
旅費	費用弁償	384,568	協議会委員、部会員、講師等の交通費
	普通旅費	1,071,200	職員の出張旅費
需用費	消耗品費	895,090	コピー用紙・事務用品購入代、各種イベント材料費
	燃料費	6,600	マイクロバス軽油代等
	食糧費	274,800	講座・イベント参加者昼食代、ジオパークフェア食材費
	印刷製本費	1,332,900	ガイドブック、マップ、パンフレット、フライヤー、封筒印刷 等
役務費	通信運搬費	173,000	送料、切手代　等
	広告料	150,000	新聞・メディア広告料
	手数料	173,656	振込手数料、オンライン決済手数料　等
	保険料	17,500	講座・研修等参加者にかかる傷害保険料
委託料	委託料	1,414,685	市場軌道看板改修、公式WEBサイト保守、ジオパークフェア会場設営 等
使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	200,136	ジオツアー申込サイト使用料、講師宿泊代　等
負担金補助及び交付金	負担金	1,927,000	ＪＧＮ年会費、山口大学社会連携講座負担金、研修参加負担金 等
	合計額	**9,380,135**	

永尾基金

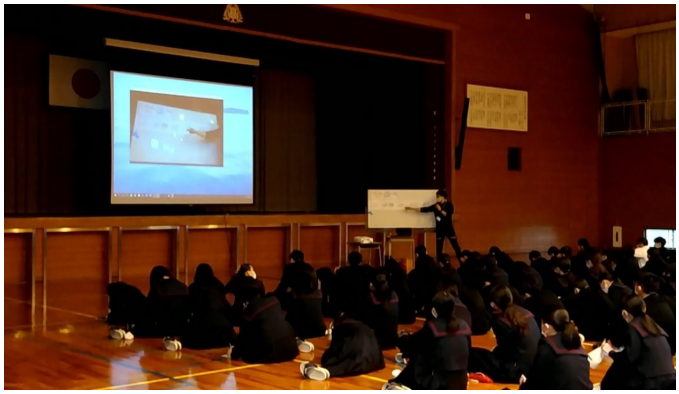
項目	科目	金額（円）	概要等
繰越金	繰越金	3,000,101	
雑収入	雑収入	25	預金利子等
	合計額	**3,000,126**	

学校でジオパーク！出前授業レポート

萩ジオパークでは小学校から大学まで、毎年多くの学校から出前授業の依頼をいただいています。今年度の活動が始まりましたのでレポートします。

5月13日（木）萩高校

萩高校の2年生が探究活動を通して郷土への関心を深め、地域の課題解決に取り組む「萩グローカル・ラーニング（HGL）」で白井専門員が講演しました。これから探究テーマを設定するという段階で、探究活動の中で大切なこと、テーマ設定や探求の目的を考える際に押さえておきたいポイントなどを話しました。生徒の皆さんはメモを取りながら熱心に聞いていました。グローバルな視点から地域を捉えて、今よりもさらに良い故郷となるための意義深い活動がたくさん生まれるのを楽しみにしています。



5月13日（木）至誠館大学

至誠館大学の授業には、地域の課題解決につながることを学生が考え実践するものがあります。今年度は笠山周辺がフィールドワークの場として選定されました。まずは現地を知ろうと、「笠山ジオの会」の会員の案内で「ヒヤシ（風穴）の秘密」を探すまち歩きをしました。前日の降雨により、気温が上がらず、風穴から吹き出す冷風はさほど感じられませんでしたが、地区内を巡り、「ヒヤシ」を生活に活かしていた様子を垣間見ることができました。越ヶ浜周辺（笠山・明神池）は大学生の提案でどんな変化が生まれるのでしょう。これからの学生さんの取組みが楽しみです。

5月15日（土）越ヶ浜小学校 放課後こども教室

越ヶ浜小学校の放課後こども教室で、越ヶ浜の方を中心に構成される「笠山ジオの会」の皆さんが講師となって笠山の成り立ちや火山の仕組みを学ぶプログラムを実施しました。笠山山頂周辺を舞台にネイチャーゲームや火山噴火実験を織り交ぜた1時間半の内容で、子どもたちが楽しみながら学びを深めていました。また、親御さんや地域の方々も一緒に実験に参加し、中には子ども以上に楽しんでおられる方もいたのが印象的でした。

新型コロナウイルスの影響で中止となったものもありますが、6月以降も続々と依頼をいただいています。例年通りいかない状況はまだまだ続いていますが、これまで試行錯誤してきた成果も活かしながら、質の高い学びの機会を提供し続けていきたいと思います。

“大地と人のつながり”を楽しむ講座、
萩ジオユニバース が始まります ！

萩ジオパークでは毎年、様々な切り口で地域の皆さんに “大地と人のつながり” を感じていただく講座を開催してきました。今年度も、例年に負けないぐらいの充実した講座を計画中です。

大地の遊び人養成講座（全5回予定）

野外での遊びを通して、五感で大地の営みを感じる力を身に付けます。今年は阿武町の筒尾集落周辺を舞台に、海から山まで遊びつくします。実施日：①6/19（土）、②8/7（土）、③9/18（土）、④11/13（土）、⑤1/22（土）。

地球を食べる食堂（全3回予定）

“食”を切り口に、大地と向き合うことの大切さを学びます。テーマ食材と関わりの深い大地の景色を見学し、生産者さんのお話を聞いたら、最後は美味しく料理を味わいます。今年は「阿武火山群と無角和種」、「龍が通った道と弥富そば」など、秋以降に3回を計画中です。

萩ジオアカデミー（全15回予定）

地球科学の研究者から地球の仕組みや萩の大地の成り立ちなどを学びます。昨年度の豪華講師陣による講義動画を再度配信予定（6月25日～）の他、秋以降には対面講義と現地見学形式の講座も計画中です。

詳細や申込方法はホームページでご確認ください。参加の注意事項等をよく読んでいただいた上でお申込みください。新型コロナウイルス感染症の状況によっては予定通りに実施できない可能性もありますが、どんな状況でも柔軟に対応し、皆さんと一緒に学びを深められることを楽しみにしています。

6月の予定

○ **geoとも（萩ジオ友の会）定例会「ジオ探訪」**　6月12日（土）9：30～16：00　集合場所：須佐駅　内容：江崎海岸物語　参加費：実費　主催：geoとも　問合せ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8749-9383）

● **大地の遊び人養成講座＃１基礎編**　6月19日（土）動画配信予定　内容：遊びの基本スキルを身につけよう　主催・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）　※新型コロナウイルス感染拡大の防止やお客様の安全を考慮し、動画配信形式とします。各自、ご自宅などで練習していただける内容を企画中です（申込不要）

● **【オンラインガイドツアー】『どこでもジオツアー』＃13「絶景誕生ミステリー 須佐ホルンフェルス編」**　6月26日（土）10：00～11：30　旅の舞台：須佐　内容：オンライン会議ツール「Zoom」を使って行うオンラインツアー　参加費：基本プラン2,000円（視聴会話のみ、20名）/プレミアムプラン 4,500円（お土産付き、10名）　申込：旅行紹介サイト「HIS」からクレジット決済　販売期間：6/10～6/25　主催・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

今回も1話のみ

がんばれ！半田くん

原作：わっきー教授　画：白玉だんご

第49話 西予で見つけた「どんなワナ」？

わっきー教授のつぶやき

半田くんたちは萩を飛び出して、日本各地のジオパークを巡ってきましたが、それも今回でおしまい。次回からは萩に戻ることになります。最後に訪れた愛媛県の四国西予ジオパークは、非常に多様なジオサイトから構成されています。前回紹介した四国カルストだけではなく、約4億5千万年前から現在までの様々な地球の記憶がつまったジオパークなんですね。

一番古い約4億5千万年前にできた岩石は、寺野変成岩類という低温高圧型の変成岩類です。この低温高圧型の変成岩類というのは、海のプレートが陸のプレートに沈み込むときにできる岩石で、この岩石があるということは、この時代に日本付近では現在と同じように海のプレートが陸のプレートの下に沈み込んでいたことを示しているんです。日本では、現在太平洋プレートとフィリピン海プレートが日本列島を構成する陸のプレートの下に沈み込んでいます。このような状態になったのが約5億年前だと考えられているけど、この寺野変成岩類は、その事実を示す貴重な証拠になっています。この寺野変成岩類は、西予市の黒瀬川

写真１　源氏ヶ駄馬（四国カルスト）

写真２　田穂の石灰岩（アンモナイト化石）

写真３　中津川のトゥファ

地区にあります。この黒瀬川という名前は、黒瀬川帯という日本の地質帯の名前にもなっています。この黒瀬川帯は幅が狭いけれど、そこに非常にいろいろな時代やいろいろな種類の地層や岩石が所狭しと分布しています。この漫画で紹介している三畳紀の田穂石灰岩や中津川トゥファの元となっているジュラ紀の石灰岩なども、黒瀬川帯の構成員です。四国西予ジオパークの地層や岩石は、現在の日本の位置で形成されたわけではなくて、南の方にあったゴンドワナ大陸の縁付近で出来たと考えられています。ゴンドワナ大陸は、約６億年前に形成された超大陸で、約２億年前から分裂を開始して、その破片はアフリカ・南米・南極・インド・オーストラリア・中国・インドシナなどの大陸に分かれていきました。そのとき西予地域の地層は中国大陸などとともにゴンドワナから離れて行き、現在の位置にたどりついたといわれています。どの石も長旅をしてきたので、とても疲れていると思うので、もし見に行くことがあったら、その労をねぎらってあげてください。

　さて、白井龍馬さんと愉ほら老師は、四国を離れて、萩にやってきたようです。もし皆さんの近所で見かけたら、声をかけてあげてくださいね。喜びますよ。

写真４　西予で食べた「ジオパノラマ膳」
トゥファ（豆腐）サラダがついてます（笑）

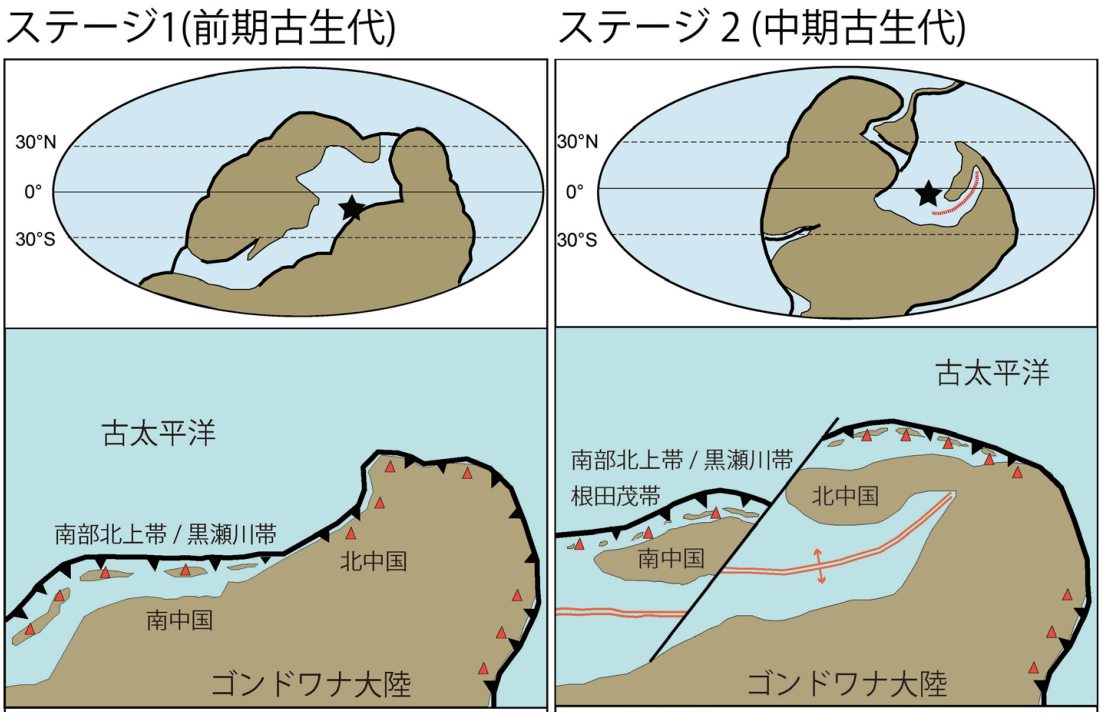


図　ゴンドワナ大陸の近くにいた日本（約4-5億年前）